# マスターズのページ青春の人は炊ゆ

# 続·アジアマスターズ陸上 活躍したアスリートたち

新しい辰年の1月が終わり、2月4日は早くも暦の上では春に入る日とされる立春。その1日前の3日は節分だ。 「福は内、鬼は外」の掛け声と共に豆がまかれ、邪気を払う行事が終了すると11日は建国記念日、翌12日は振替休日で連休となる。また、23日は天皇誕生日で、ここから3連休だ。マスターズの皆さんは、しっかり練習を。御節(おせち)をおなかいっぱい食べた後は、しっかりトレーニングで、腹ごなしを。

#### 世界新の4×100mRで 3走を務めた譜久里武さん(沖縄)

2月号で紹介した通り、M50・4×100mRで44秒42のクラス別世界 記録をマークした日本チームの3走で バトンを受けたのが譜久里武さん(沖縄)だ。

譜久里さんはM50・100m予選で11 秒61のトップ。だが、予選レース中に脚に肉離れを起こし、決勝は不本意な8位に終わった。リレーのときは「脚にぐるぐる巻きのテーピングをして」走ったそうだ。

譜久里さんは53歳。38歳のときは  $M35 \cdot 60$ mで 6 秒87の日本マスターズ記録をつくっていた。このタイムは 2022年に 6 秒85と書き換えられたが、 $4 \times 100$ mRでは必ず譜久里さんの名前が——。M40 では15年の世界マスターズ選手権(リヨン・フランス)での42 秒70(2 走)、M45 においては 19年クチン(マレーシア)であったアジアマスターズ選手権での43 秒27(1 走)と、23年のクラーク(フィリピン)での44 秒42 まで、譜久里さんがオーダーに。日本記録、世界記録にカルテットの 1 人として貢献している。

往年の現役時代は1993年の四国(鳴門)国体の一般男子100mで5位入賞している。ベストは国体で出した10秒51だ。この国体は沖縄陸協の所属で出場。35歳ぐらいで第一線から退いたが、37歳で再び陸上の道へ。日々の練習を2時間ほどにし、筋トレを含

め、長い距離を走ることに加え、短距離のスタートダッシュなどをしている。今後の目標については、こう話す。「さらなる目標は55歳になったとき、M55クラスへの挑戦。同クラスでは"新人"ですから、新人らしく短距離の記録に挑みたい。日本記録だけでなく、できれば世界記録も」と、夢はでっかい。

## M75・棒高跳でNo.1 西山正文さん(京都)

2023年の10月、アジアマスターズ 選手権の前に行われた第44回全日本 マスターズ選手権山口大会のM75・ 棒高跳で2m35を跳び1位となった 西山正文さん(京都)が、2m20で アジアをも制した。

76歳のポール・ボウルターは73歳のとき、2m40のM70・クラス別室内日本記録をつくっている。こうした実績を持つ西山さんは「11月のアジア大会では、もう少し上を目指せると思ったのですが」と。西山さんが思っていたより低い記録に終わった理由として、棒高跳用のポールは会場に備え付けのものを使用しなければならず、なじめなかったことが挙げられる。

西山さんの棒高跳のキャリアは中学生の頃からだ。中3のときに3m05を竹のポールで跳び、京都府中学記録を出した。高校は当時、陸上が充実していた東山高へ。主将を務め、高3でインターハイ大阪大会へ出場したが、入賞までは届かなかった。

その後、京都教大へ進学。高校時代

はグラスファイバーのポールが出はじめた頃で、大学では竹が姿を消した。 関西学生対校陸上では2年生まで2部で活躍し、1967年の2年生のときは4m20で2部1位に。3年生になると1部の仲間入りをして、4m30と記録を伸ばし2位に。次年度は4m20の5位だった。社会人になると高校教諭となって、後進の指導に当たった。60歳半ばでマスターズ陸上へ入り、再びポールを握り「世界マスターズへも出たいですね」と情熱を燃やしている。

#### 久保田謙吾さん(福島) M55・円盤投でアジアNo.1

アジアマスターズのM55・円盤投でトップに立ったのは久保田謙吾さん(福島)だった。空中に舞った1.5kgの円盤は35m76の地点へ。55歳の久保田さんは重量投を集中的に行っており、円盤はほとんど手にしていなかった。というのも32歳の頃、左脚のアキレス腱を切断したため、円盤投は不可能になったのだ。以後、重量投に転じたのが40歳代の半ばから。

重量投は全日本マスターズ選手権では実施されていないが、記録を見ると47歳の2016年は12m25、17年に11m90、18年が11m37といずれもランキング1位。また、クラス別日本記録を48歳の17年に韓国・大邱での世界マスターズ室内大会で11m57(重量15.88kg)、19年(同11.34kg)に13m85とW45、50各クラスで出している。

久保田さんは会津若松市に住み、市



久保田さん(中央)がアジアマスターズの M55・円盤投で共に戦った各国の選手たちと共に(本人写



高畑さん(左から2人目)はアジアマスターズの W35・4×100mR でアジア新 記録で優勝した(本人写真提供)

内の会津高で学び、1986年のインタ ーハイ山口大会に円盤投(1.5kg)で 出場している。入賞は逃したが、予選 で投げた49m68は、この年の全国高 校ランク14位だ。久保田さんは高校 を出てアメリカで学生生活後、就職し てアメリカ、イギリスで2年ずつ勤め た。外国にいるとき、スコットランド の伝統イベントであるハイランドゲー ムスに熱中。同ゲームはハンマー投、 石投げ、丸太棒投ほか重量競技も含ま れる。ここで覚えた経験が重量投に生 きている。

この久保田さんを見習って、"師弟 関係"にあるのが、同地域に住む金子 裕子さん(46歳)。金子さんは久保田 さんに誘われるままアジアマスターズ に参加し、W45・円盤投で31m03の 3位に。このご両人、今年の全日本マ スターズ選手権で「さらなる上の記録 を目指す」と意気込んでいる。

## W60・健闘したスプリンター 高橋葉子さん(神奈川)

64歳とW60クラスでは不利な年齢 だが、100mの予選を14秒75で1位 通過したものの決勝は15秒15で2位。 それではと200mを31秒27で制した のが高橋葉子さん(神奈川)だ。春先 に足のケガで、しばらく練習もできな かったが、何とか走れるまでに回復し た。「100mは予選から決勝まで、6 時間ほど時間が空いていて……」と、 集中心を欠いたようだ。

高橋さんは中学生の頃から陸上をや

り、高校ではリレーでインターハイに も出たことがある。かつて、200mを 26秒8で走り、神奈川県下では傑出 したタイムを出している。だが、いつ の頃からか、長距離志向となり、各地 のフルマラソンへ出場していた。が、 である。大学を出て勤めていた時代に、 横浜医科学センターで「あなたは長い 距離より、短い距離が向いている」と 言われ、再び短距離にシフトした。57 歳だったか。

16年、新潟であった第37回全日本 マスターズ選手権に出て、W55・60m で9秒17(+0.4)の2位、同100m で14秒99 (+0.9) の1位、200mで 31秒27 (±0.0) の2位といった成績 だった。翌年の全日本マスターズ選手 権和歌山大会ではW55・100mで14 秒98 (-0.2) と、アメリカ選手に次 ぐ2位、200mは31秒12 (-1.5)の 4位となった。

60歳になった2019年の第40回記念・ 国際全日本マスターズではW60・60m 9秒05 (-1.0)、100m14秒39 (+1.4)、 200m30秒77 (-2.3) と三冠に輝き、 100m はクラス別日本新だった。65歳 では「W65クラスの100mと200mで 日本記録を | と張り切っている。

## W45・80mHで女王となった 高畑志野さん(長野)

W45・80mHを制したのは髙畑志 野さん(長野)で12秒02だった。ハ ードルの女王は46歳。38歳のときに マスターズ陸上の会員となり、現在、

W45クラスで勢いに乗っている。

長野県出身の髙畑さんは松本市の丸 ノ内中のときから陸上と慣れ親しん だ。三種競技Bで2888点をはじめ、 200m26秒05、走幅跳5m04の成績を 残した。高校は県立松本県ケ丘。高校 時代は200mと100mHで25秒40、14 秒80を出し、七種競技が4164点のほ か、はやり始めた400mHでは1分00 秒74で広島での国体で3位に入賞し ている。卒業後、早大へ進み、400mH では日本インカレで5位となり、ベス トの1分00秒45は01年の日本ランク 15位となっている。

マスターズの全日本選手権に初めて 参戦したのが第40回記念・国際大会 となった群馬でのイベント。W40・ 80mHに12秒93 (-0.7) で初出場初 優勝した。年が飛んで45歳の23年は 数々の日本記録を生んだ。80mHは7 月に11秒87、9月のヨーロッパ・マ スターズで11秒93。立五段跳は11月 に12m40、七種競技は北海道で6月 にあった混成競技記録会で4822点(12 秒 30 - 1 m 40 - 7 m 76 - 27 秒 43 (+ 2.7) / 4 m75 - 20m99 - 2 分45秒 02) と、ハードルだけでなく多面にわ たって記録を出した。

高畑さんは女子三段跳でW50から W70に至るまで世界記録を連発して いる同じ長野の大日向暁子さんを師と 仰ぎ「私はあの方の(自称)次女とし て、大日向さんの背中を見て追いかけ たい。24年も頑張って、世界記録に も挑戦したいです」と話している。